

第12回「雪の学習」研究会

主催者名： 北海道教育大学・北海道雪プロジェクト・札幌市立屯田北小学校

後援者名： 北海道教育委員会 札幌市教育委員会

実施日時： 2014年1月24日（金） 13:00～16:45

実施場所： 札幌市立屯田北小学校 札幌市北区屯田9条3丁目4-1

実施目的： 『雪』は単に自然環境として存在するばかりでなく、日々の暮らしひいては文化にも多大な影響を与えており、地域の特色を活かした最適な教材であり、教育現場での活用が望まれる。本研究会では、雪の実践をどのように進めていくか、公開授業等を通じて考える。

参加者数： 103名

概要： (a) 公開授業『身近な暮らしと政治』（6年社会）は市の雪対策が政治で支えられていることに気付かせ、未来の雪対策への視点を持たせるものであった。本時では、雪堆積場が市専用と一般とに分かれている事実から、市側の意図や市民の思いを考えさせた。授業後、授業に関する検討・討論を行った。講座「子どもと学ぼう！ “雪・環境・読書”」では、児童と行う雪の結晶観察の仕方や雪に関するプレゼンテーションの仕方、世界に誇れる冬の自然環境などを解説すると共に、子どもと読みたい雪の本に関するブックトークを行った。

(b) 事後アンケートに依れば、研究会の満足度は5段階評価で4.5、取り上げた内容を授業でやってみたいかも4.5と好評であった。

(c) テキスト「雪の学習プレゼンテーション2」、「雪は自然エネルギー」等を配布し、教育現場での活用を促した。

(d) 本研究会の内容は北海道新聞2月17日朝刊教育面で紹介された。

参加者感想例：

- 子どもが政治を身近に感じることができる「雪」を扱った授業に挑戦してみようと思います。（小学校教諭）
- 自分の住む町の課題をもっと、教材に取り入れることができれば、さらに、活気のある授業になるのかなと思いました。（小学校教諭）
- 初めてブックトークを体験しました。テンポがよい軽快なトークにすっかり夢中になりました。本のスペシャリストという印象を受けました。（小学校教諭）
- この時期の総合学習など計画をたてる時にどう計画を立てるか毎年悩みます。今回の研究会、大変参考になりました。（小学校教諭）
- 除雪の授業（社会）は、知らなかった知識も多く、子どもと同じ目線で楽しむことができた。屯田北小の子供のプレゼンテーション力はすごいと思った。（大学生）